

◆編集・発行
茨城町 町長公室 秘書広聴課
〒311-3192
茨城県東茨城郡茨城町小堤1080
☎ 029-292-1111
メールアドレス
ibarakit@town.ibaraki.lg.jp

◆人口
住民基本台帳
令和元年10月末現在
男 16,330人
女 16,182人
総人口 32,512人
世帯数 13,293世帯

- ◆茨城町民憲章
- ふるさとの自然を守り、美しい環境の町をつくりましょう。
 - からだをきたえ、教養を高めて、すこやかな町をつくりましょう。
 - 隣人や家庭の愛を大切に、まごころのかよい合う町をつくりましょう。
 - 自分の仕事に責任と誇りを持ち、活気に満ちた町をつくりましょう。
 - 文化遺産を愛護し、先人の努力に感謝できる町をつくりましょう。

- ◆町の花 桜
- ◆町の木 梅
- ◆町の鳥 ウグイス

◆町の情報発信中!!

- 町公式ホームページ
<http://www.town.ibaraki.lg.jp/>



- 町公式ツイッター
<https://twitter.com/IbarakiTownMati/>



- 町公式インスタグラム
https://www.instagram.com/townibaraki_official/



里山に育む生きものたち

No.88 コクマルガラス
学名 *Corvus dauuricus*

写真・文 山口 萬壽美

▼**動物学の研究**
明治36年(1903年)頃に、ドイツのコンラート・ローレンツ博士が、「動物行動学」の研究をした有名なガラスなので、私

▼**日本の渡り鳥**
季節の移ろいと共に現れたり、いなくなったりする鳥である「渡り鳥」は昔から多くの人たちにとって気になる存在でした。特に瀬沼周辺の野鳥は、約8割が渡り鳥のようです。
昭和47年12月15日、私はツル類の観察を目的に、渡来地で有名な鹿児島県出水市に出かけた際、万羽のツル類がいるなかで、モンゴルの方面から飛来した数百羽のミヤマガラスの中にいた、コクマルガラス8羽の行動に興味がありました。

▼**分布**
イギリス、ヨーロッパからユーラシア大陸の中部で繁殖し、韓国や中国、台湾、ロシア東部に分布します。日本には、越冬のため

▼**主な特徴**
大きさは、キジバトくらいで小型の可愛らしいガラスです。雌雄同色で、嘴は短く、足が黒いのが特長です。白色型と暗色型がありますが、冬鳥として渡来するガラスは白色型が多いです。白色型の成鳥は、額から前頭部と喉から胸が白色で、全身が黒く光沢があります。

▼**ミヤマガラスとコクマルガラス**
平成14年2月15日、「東海村川根地区の田んぼに本県初確認のミヤマガラスとコクマルガラスが来ているよ。」と友人から連絡があり、現地に行きました。ミヤマガラス約450羽の群れのなかに、コクマルガラスを6羽見つけました。
発見後、日本野鳥の会茨城支部が県内でコクマルガラスの調査をしました(支部報「ひばり」報告)。私も町内を中心に調査したところ、駒場・下石崎地区の田んぼや畑にも、大群のミヤマガラスが飛来し、この集団に混じって少数のコクマルガラスも観察されました。

飛来します。

ちびっ子アート さくらこども園



「イルカショー」
すずき きい (6歳)



「おさかないっぱい」
ねさき ゆきね (6歳)